

# 篁

会報2026 No.37

東京府立第二高等女学校同窓会  
東京都立竹早高等学校同窓会

縦と横の絆が紡ぐ竹早の伝統と未来



## 特集 「84年卒業生の足跡～高校時代の思い出とその後」

第8回ホームカミングデーのご案内……………2	奨学生認証式、竹早祭、体育祭……………11
篁会会長・竹早高校校長挨拶……………3	シニア会、校歌祭、大学合格状況……………12
令和7年 篁会総会、第7回ホームカミングデー報告……………4	企画 ホームカミングデー担当(1983年卒)で作ったページ……………13
若篁会、学問ガイダンス、幹事交流会……………5	令和7年度理事会、決算・予算案報告……………14
特集「84年卒業生の足跡」……………6	篁会公式サイトフルリニューアル……………15
特別セミナー、企業訪問……………9	役員・広報委員名簿……………裏表紙
六竹会、自彊術に出会って……………10	

## 第⑧回 竹早高校 ホームカミングデー

# 縦と横の糸が紡ぐ竹早の伝統と未来

開催日時 2026年6月21日(日)

### 当日スケジュール (参加費無料/教育基金への寄付をご検討ください [任意])

受付開始 12:00～ (場所:校舎 1 F)

第1部 12:30～ 篁会総会 (場所:大会議室)

第2部 交流会(13:30～16:00) (場所:大会議室)

13:30～ 伊藤比呂美さん(竹早高校74年卒、詩人)トークショーとお悩み相談会

14:30～ 竹早高校の伝統と未来を語り合う(事前アンケートを踏まえて)

15:15～ 世代交流クイズ大会

16:00～ ホームカミングデー幹事引き継ぎ式/校内ツアー(希望者)

若篁塾 (場所:地下講義室)

10:00～ 受付

10:30～ 講座開始

(参加される方は、ホームカミングデーのQRコードからお申し込みください)

親子マジック教室 13:00～13:45 (場所:書道室)

(親子マジック教室に参加される方々は、12:50までに校舎 1Fにてホームカミングデーの受付を済ませ、書道室に移動してください)

### ホームカミングデーへの参加申し込み方法 以下のいずれかの方法でご参加ください

- ① 右の QR コードからエントリー **メ切:6月12日(金)**
- ② 当日参加も可能ですが、混雑を避けるため、できるだけ事前のお申し込みをお願いします



### アンケートのお願い

竹早高校の伝統と未来を語り合う上で、皆様の竹早高校に対する思いなどを伺いたいと考えています。右の QR コードよりアンケートへのご回答をお願いします (回答期限:5月24日(日))



### バレー部OBOG会ホームカミングデー同時開催 若いOBOGが楽しく活動・活躍する会へ

12:00 受付開始(支援寄付・会費もお願いします)

13:00～15:30 OBOG交流試合(アリーナ)

〈問い合わせメール〉 takehayaobogkai@gmail.com

主催:篁会 幹事年:83年卒学年幹事会 協力:東京都立竹早高等学校

## 箠会会長ご挨拶

箠会会長 吉田 賢治

昨年の総会で会長を拝命いたしました1975年卒の吉田賢治です。箠会理事会が8年にわたり推進して参りましたことは「シニアと若者が話し合い、助け合うやさしい関係の発展と、相互のためになる事業の推進」です。

例えば、竹早高校の生徒を対象にした特別セミナー、企業訪問、学問ガイダンス、学年幹事交流会は副会長とベテラン理事が若手社会人大学生の理事と力を合わせて企画運営を行っています。東京校歌祭においては、合唱部の若手OBOGが高齢のOBOGと練習して本番に臨んでいます。そして2016年卒以降の卒業生を中心とした若手組織「若箠会」。ベテラン理事の知恵と若箠会の発想が共鳴し、今年7回目となるホームカミングデーの新たな枠組み「若箠塾」開催に向けて楽しく講座企画を進めています。

今後も敬い慈しむ稀有な関係の質と量を発展させていくことで、より多くの会員の皆さまに貢献していきたいと思っております。



## 竹早高校校長ご挨拶

竹早高校校長 俵田 浩一

箠会の皆様方には日頃より本校の教育活動にご支援・ご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今年度竹早高校は、東京都教育委員会から、進学指導推進校、海外帰国生徒受入校、海外学校間交流推進校、Tokyo Metropolitan Global Education Network School for English Education (GE-NET EE)、【TIPS-Type3】Tokyo-IBLハイスクールの継続指定と新たに理数研究拠点校の指定を受けました。これらの指定を踏まえて探究活動と国際交流活動を推進しています。

特に今年度は探究活動の更なる充実を図るために、校内組織の見直しを行い、探究部を新設しました。

この春の現役生の主な合格状況は、難関大学の東京大学1名、京都大学2名、一橋大学2名、東京科学大学2名をはじめとして国公立大学に59名、早慶上理86名、GMARCH345名と昨年に引き続き進路実現の成果をあげています。

竹早高校の良き伝統を継承しながらも新しい時代に対応した人材の育成を進めていきたいと考えています。箠会の皆様方には引き続き、様々な面でご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。



# 2025年 総会・ホームカミングデー

## 新たな取組で地方や海外からの参加者も！

2025年は高校在学時からイベント企画にこだわりのメンバーが集結して、インターネット生放送という初の試みを展開し、地方や海外からの参加者にも楽しんでもらうことができました。

### 2025年度 篁会総会

篁会 79 回 生根岸理事の司会 & 議事進行のもと、高倉会長の挨拶でスタートしました。24 年度事業報告に続き、吉田新会長の承認、新理事承認、理事異動及び理事の紹介、会則変更の承認、決算報告及び承認、各事業報告を実施。最後に吉田新会長から 2025 年度事業計画の説明を行い、滞りなく終了しました。

### 第7回竹早高校ホームカミングデー

2025 年のホームカミングデーは、2025 年 6 月 22 日（日）、「あの日、あの人と、繋ぐ」をテーマに、初の試みとして、You Tube ライブ配信を使用したインターネット生放送に取り組みました。地方や海外にいるなど、当日、リアルで会場に来ることができない人にも参加していただくことができました。

#### ◆歴代4名の先生方と語り合うパネルディスカッション

会場でのメインプログラム「パネルディスカッション」には、濱和廣先生、渡邊義正先生、堀切哲弥先生、西野京子先生にご登壇いただき、竹早高校での思い出やエピソードを語っていただきました。また、参加者とともに竹早の「自主自律」についてディスカッションを行い、盛り上がりました。

他に、校舎ツアーや若篁会による就職セミナー、また、「標準服着用と竹の子結びの変遷展示研究発表」、懐かしの「フジモリパン」の配布も行い、好評でした。最後の交流会では、濱元校長のハーモニカ伴奏で参加者全員で校歌を熱唱して、余韻がいっぱいの中、閉会となりました。

#### ◆初の試み・インターネット生放送

特別スタジオからのインターネット放送は午前 10:00 に開始し、幹事の 82 年卒業生が事前に各地・各方面で取材・制作したコンテンツを配信しました。卒業生同士で竹早高校の周辺を散策する「小石川散歩」、様々な分野で活躍する卒業生の姿を紹介する番組など…。92 年卒業生で俳優の小手伸也さんにもインタビューに協力いただきました。

ホームカミングデースタート後は、スタジオとリアル会場をつないで中継しました。初めての試みで、技術的に難しい点などもありましたが、遠方からオンラインで見いていた方々には、ホームカミングデーに参加することができた嬉しさ、懐かしさなど、たくさんのコメントをいただきました。

朝からの時間があっという間でしたが、世代を超え空間を超えて、「思い出のピースとの再会と新しいピースとの出会いをつなぐ場所」となった日でした。この会の開催にあたり、ご協力をくださった全ての皆様へ感謝いたします。



## 若篁会、着々拡大中!

理事会や委員会などの従来の篁会の活動に留まらず、ゆるやかに繋がりながら学び合い、交流することを目指している若篁会プロジェクトですが、2025年度は若篁塾セミナーの実施に向けた準備に注力しました。従来は就活セミナーとして主に各業界で就職するまでの体験談をホームカミングデー内の企画で届けてきました。若篁塾セミナーではそれらに加え、講師を務める若手社会人がどのような学生生活を送り、どのような価値観で今の職業を選び、今どのような仕事に取り組んでいるのかにフォーカスし、より「キャリア形成」や「人生」という深部に触れていきたいと思っています。これからのキャリアに期待と不安が入り混じる大学生に対し、単なる就活テクニックに留まらず、同じ学び舎を巣立った先輩たちが社会とどう格闘しているのか、講師の「等身大」の姿をお見せできればと思います。

また、上記セミナーに限らず交流の機会も増やしていきます。これまで懇親会中心だった交流の形態を見直し、ボーリングや映画観賞会などアミューズメント形式での交流を活性化させます。今後の若篁会にご期待ください!



2025年ホームカミングデーの就活セミナーの様子。  
2026年は若篁塾セミナーに改称

## 学問ガイダンス～大学生による学部説明～2026年3月19日実施

卒業生の大学学部生及び院生が、在校生に学部や学科等の説明を行う「学問ガイダンス」が3月に行われました。4月に2年生に進級する生徒たちを対象に実施されています。今年が2回目です。

引き受けてくれた学生たちは、大学で学んでいることを丁寧に話していました。生徒たちは3講座を選択し、メモを取りながら熱心に聞き入っていました。



講師名	大学名	学部名
長岡 望	東京医科大学 5年	医学部
天野 翔次郎	東京大学院 2年	海洋生物/生命科学
中嶋 真優	上智大学院2年	東洋大学 宗教/哲学
矢野 有紗	文教大学院 2年	臨床心理/人間科学
池ヶ谷 駿介	東京学芸大学院 1年	教育/多文化共生
池野 真宏	千葉大学院 1年	工/機械工学
櫻井 龍輝	千葉大学院 1年	法政経(院は教育)

講師名	大学名	学部名
前田 大輝	横浜国立大学院 1年	都市工学/ 建築
緑川 泰生	東京理科大学院 1年	化学/生物
荒川 俊介	上智大学 4年	法/政治
馬場 大輔	東京都立大学 4年	人文社会/人間社会
山中 捺月	早稲田大学 4年	人間科学
関 拓人	信州大学 3年	教育(社会)/まちおこし
岩上 倫也	東京理科大学 3年	理・数学

## 「学年幹事交流会」～卒業生と篁会・若篁会の交流～

3月20日、竹早高校にて、今年度の卒業生である126回生を篁会へ歓迎する「学年幹事交流会」を開催いたしました。

新卒業生からは11名が参加しました。交流コーナーでは、竹早時代のエピソードに花が咲いたほか、ベテラン理事や若手理事からの大学生活に関するアドバイスもあり、終始和やかな雰囲気にも包まれました。また、ナンカレーをテイクアウトし、昼食を共にして親睦を深めました。



会終了後には、新たな試みとして、若手理事と新卒業生のみでボウリングへ行きました。セブンティーンアイスを楽しみながら、2時間の投げ放題!(若手理事はへろへろでした)。

今回の交流を通じて、若篁会が大学生にとっての憩いの場として広がりつつあることを実感いたしました。今後も篁会および若篁会が皆さまの支えとなり、また気軽に集える場となるよう努めてまいります。

# 84年卒業生の足跡

## ～高校時代の思い出とその後～

### 濃密な時間、変わる時代、変わらぬ仲間

Aルーム 佐藤 竜也

45年前、最後の41群の合格発表を見に行き、小学生時代の親友に会った。その足で体育館に行きバレー部の練習を見てほぼバレー漬けの3年間を過ごした。クラスは2年生から一緒なこともあり、修学旅行や体育祭、伊東への卒業旅行や翌年の第2回卒業箱根旅行(?)、避難訓練など様々な楽しい、熱い思い出が浮かぶ。

竹早高校の校風は、「自主自律」の言葉通り本当に自由であり、その分自分で責任を持つことの大切さを教えていただいた。大学受験に際し、バレー部顧問でもある井上先生からは、「高校生活はスポーツしかしていないのだから俺の定年までに大学に受かれよ」と厳しくも優しく教えていただき、一浪の末、希望の大学、希望の旅行会社へとその後の進路を進むことができた。

社会人生活も一区切り、先日、約半世紀振りに訪れたが、学校も周囲も大きく変貌していた。その中でアルバイトをしたスーパーなど変わらぬものもありホッとした。

社会人として責任ある立場になると目標達成のための計画立案、組織運営、指揮などを取っていく。自主自律の大切さを痛感するとともに、高校時代にスポーツに明け暮れていた自分達を支えてくれていたマネージャー達に感謝を伝えられなかったことを後悔するようになった。今は会社の後輩に、人の為に全力で仕事をできるように頑張ってほしく、見本となるよう努め、日々感謝を伝え、自分磨きをしている。

昨年、プレ還暦クラス会を実施、今年も還暦クラス会を開催した。昔の仲間と逢うと、今も青春時代を思い、お互いにあの時にタイムスリップできた。これからもこの仲間との出会いを大切に、変わらず過ごしていきたい。



昔の仲間と逢えばあの頃にタイムスリップ

### ついていくのに必死だった日々、そして長谷部先生の思い出

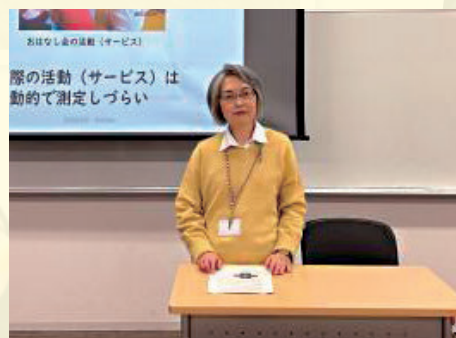
Bルーム 須賀(春日部) 千絵

竹早に入ってまず驚いたのは、会話のテンポの速さでした。私は帰国生として入学しましたが、ずっと日本人学校に通っていたので、日本語のハンデは全く感じていませんでした。帰国して初めて気づきましたが、日本人学校はずいぶんのんびりした環境だったようです。当時、もしかしたら、私のことを「おとなしい人」だと思った方もいたかもしれません。それは単に会話の中で話題がポンポン変わる速さについていけず、呆然としていただけなのでした。

入学後、スポーツは苦手でも、運動部の雰囲気には憧れがあったので、男子バレーボール部にマネージャーとして入部しました。大石力先生とOBの熱心な指導の下、当時の男バレは、スポ根マンガさながらの練習量。球拾いだけの私でも、お弁当に追加して、フジモリの焼きそばパンを食べていたくらいです。強豪校も多い中、6名の精鋭チームは都大会を勝ち上がっていき、誇らしい気持ちを少し分けてもらったことは忘れられない思い出です。

Bルームの担任は、穏やかな長谷部英吾先生でした。「英語」と黒板に書き、「語」の字を半分手で隠して「英語が担当の長谷部英吾です」と自己紹介されたことを覚えています。先生は、卒業後も年賀状をずっと私に送り続けてくださっています。

大学卒業後、図書館員を経て、現在私は、都内の大学で図書館学を教えています。高校時代には思いもよらぬことでしたが、気がつけば教員生活も30年近く。そのような中で数年前、長谷部先生から、突然メールをいただきました。先生は定年後にギリシア文学を研究されており、その関連の(英語の!)研究論文の入手についてのご相談でした。長谷部先生は単に「穏やか」なだけでなく、学びへの情熱を持ち続ける「熱い」先生であることに、ぼんやりしていた私はこのとき初めて気づきました!



思いもよらず教員生活も30年近くに

## Let's enjoy Reborn !

Cルーム 高橋 稔

84年卒のみなさんこんにちは！みなさんはどんな還暦を迎えましたか？私たちC組は、ここ3～4年で30年以上のブランクなどまったくなかったように楽しく集まっています。2年に1回のクラス会本会（場所は必ず我々の聖地＝池袋）、毎年8月の上野精養軒ビアガーデン会（有志参加）等々。

なんでこんなに楽しそうなのだろう？答えはわからないのですが、多分今まで背負ってきた「責任」から解放されほっと一息ついているのでしょう。男子は大学卒業後に就職して家族のため自分のために40年余り頑張ってきたのでしょう！女子は自分の仕事のみならず時には子供たちの良き相談相手となり家庭を支え休みなしでがんばってきたのではないかと思います。そう考えるとクラス会に参加してほっとした「笑顔」ばかりの我々はみんな「人生の成功者」ですよ！クラス会である友人から、「還暦はReborn（生まれ変わる＝再生）の意味もあるのよ！」と教えてもらいました。女性陣は相変わらず魅力的な人達でいっぱい（私の中では彼女達は18歳で止まっている！）男性陣は（お腹と頭にやや変異が生じていますが）それなりにいい男達がそろっています。今後はこの繋がりがクラスを超えて広がればいいですね。11名の参加でしたが、実際に元3Cと元1Cの合同クラス会も企画ができました。

最後に音信不通だった私に2023年のクラス会の連絡をくれたM君、本当にありがとう。私は引っ越しを繰り返しているうちに宛先不明になってしまったようで最後の手段で実家に手書きの往復はがきを送ってくれました。出席の返事は記載のアドレスにメールで連絡し、その往復はがきは大事にとってあります。

みなさんまたお会いしましょう！84Graduate＝ALLクラス会で！



なぜこんなに楽しい？クラス会で満面の笑み

## 『還暦に思う竹早の日々』

Dルーム 星野(段野) 篤子

竹早高校に入学し受験から解放された私は、大学受験のことを頭の奥底にしまい込み、自主自律＝自由と勝手に脳内変換し気ままに過ごしていました。2人の伯母が府立第二高女出身。「たけのこ結び」で登校する姿を楽しみにしていたらしいのですが、あっさり私服通学を選び、帰りに池袋で寄り道するのが通常運転でした。予習もだんだんやらなくなり、授業のスピードについていけずどんどん落ちこぼれていきました。母に「高校に入ったらお弁当は自分で作ってね」と言われてそれだけは3年間続けられました。殺風景なお弁当は、あまりおいしく感じられず、フジモリパンで時々購入したモカプリンが、彩りを添えてくれました。高校時代の自分を振り返ると、ただ流されていたように思います。やりたいこともなく、目標を見つけることができませんでした。

そんなちょっと冷めた自分が一番熱くなれたのがダンス大会でした。当時、体育の授業に創作ダンスを取り入れているのは珍しかったと思います。今のように、流行りの音楽や振付けの動画を検索したりすることはできなかったもので、完成までだいぶ時間をかけた記憶があります。練習を重ねて挑んだダンス大会の後に屋上で撮った写真は、今も大切な思い出となっています。

そして高3、まわりはとっくに目標を決め前に進んでいました。柔道大会、体育祭、ダンス大会、竹早祭と熱くなっていたはずなのに、いつの間に！！今思うと高校時代はいつも友の背中を追い、背中を押しってもらう日々でした。

なんとか希望の大学に入学し、相変わらず勉強のほうはギリギリという表現がぴったりでしたが、なりたい自分が見つかり、その目標に向かって努力し叶えることができました。「自分で選び自分で責任を持つ」。この頃にやっと竹早で学んだこの言葉の意味を理解し、今の自分の根っことなっています。



練習を重ねて挑んだダンス大会は熱い思い出

## 我々は何者になったのか

Eルーム 関伸夫

高度経済成長に終わりを告げ、世の中に閉塞感が漂い、学校では校内暴力が吹き荒れるなど、なんとなく落ち着かない時代に、まだ何者でもなかった私たちは、大きなヒマラヤ杉の下に集うことになる。

自主自律の意味をはき違え、自由奔放な生活を送った1年生を無事(?)終了した。2年生進級時にはクラス替えがあった。当時は2年生から3年生ではクラス替えがなく、その後、卒業まで濃密な時間を過ごすことになるクラスメンバーが決まるクラス替えはかなり重要な問題であった。

2年Eルーム。まあ、よくもあれだけ、キャラクターの濃い生徒が集まったものだと感じたのは私だけではなかっただろう。勉強、音楽、芸術、スポーツなど、それぞれの分野のフロントランナーが集まった(特にスポーツに関しては各運動部のキャプテンクラスが集結した)。大石力先生の担任としての学級運営は、さぞかしご苦労が多かったのではないだろうか。

大石先生に憧れ保健体育科教員となって数年後、先生が病床に臥せておられることを聞き、同業者となった齋藤栄昭君とお見舞いに伺った。ひとしきりお話をしたところで先生が「世代交代だな」とボツリとおっしゃった。私たちは「頑張ります!」と約束をして病室を後にした。自分が目指すのは何者か、かすかに見えた気がした瞬間でもあった。

その後、齋藤君はその約束を果たし、現在は校長先生としてご活躍中である。私といえば、どこかで道に迷ってしまったが、それでもいつも頭のどこかにあの時の約束があった。縁あって現在は、大学で保健体育科教員の養成に携わっている。これも大石先生が「今度は君たちがバトンタッチをする番だよ。しっかりやりなさい」と導いてくださったのかもしれない。

さて、一体自分は何者になったのだろうか・・・

還暦を迎え、そんなことを考えています。みなさんはどうですか？



キャラクター濃い面々と担任の大石力先生

## 教えるつもりが教えられていた。キルギスの大学での授業にて

Fルーム 新井理弘

58歳で大学の教壇に立つことになるとは、自分でも思ってもいませんでした。しかもその舞台は、日本から遠く離れた中央アジアの国、キルギス。会社員として過ごしてきた私にとって、それは全くの新しい世界でした。

大学卒業後、日本のIT企業で約30年間、システムの開発や運用に携わってきました。50代になり「次に何をしようか」と考えたとき、若い頃から関心のあった国際協力をやってみたいと思い立ち、2023年秋、海外協力隊員としてキルギスの首都ビシュケクにあるキルギス国立工科大学に赴任しました。技術支援のためIT分野の授業をすることになったのです。

活動が始まると、すぐに壁にぶつかりました。技術者としての経験はあったものの、教壇に立つのは初めて。さらに、自分の知識が今では古く、学生たちの学ぶべき内容ではないことに気づきました。加えてロシア語!「本当に教えることができるのか?」と悩む日々が続きました。

しかし、立ち止まってはられません。私は発想を切り替え、学生と同じ目線で学び直すことにしました。新しいコンピュータ言語に挑戦し、最新技術を調べ、試行錯誤を繰り返しました。そうした姿勢が学生との距離を縮め、授業にも次第に活気が生まれてきました。また、日本の開発現場での経験談は学生にとって新鮮だったようで、真剣に耳を傾けてくれました。

最も学んでいたのは自分自身だったのかもしれませんが。高校時代の学習は受験中心で、必ずしも面白いものではなかった記憶があります。しかし、年を重ねてからの学びは、自身の成長につながり、人生を豊かにしてくれると感じました。キルギスでの出来事は、学ぶことは楽しく、そしてまだまだ成長できる、そう実感できた貴重な経験となりました。



試行錯誤を繰り返して次第に距離が縮まる

# 特別セミナー・1年生対象

2025年7月17日実施

今年度も「篁会特別セミナー」を実施しました。学校と連携し、運営には父母と教師の会にご協力いただいています。午後の2時間、卒業生が講師となり、1年生に講話を行いました。生徒たちは、うなずいたり質問をしたりしながら熱心に耳を傾け集中していました。受講生がこれからの進路や将来のことを考えるきっかけとなれば嬉しく思います。



講師名	卒業年	職業等	セミナータイトル
吉田 賢治	1975	広告代理店	3つの嬉しさをつくること
柴田 美香	1978	内科医師	医師の仕事、病院の仕事 あれこれ
吉田 信康	1979	税理士	自分の夢は何だろう、何になりたいのだろうか、どんな人間で文系なのか理系なのだろうか
姫野 美穂	1982	コーディネーター	変化する社会と生活の中で自分らしいキャリアをつくる
富士田 浩之	1982	大学・高校の講師	いろいろな仕事の仕方と10年後になって役立つ知識を
柳原みずき	1993	公益財団法人	“Think Globally, Act Locally”～『世界』をみつめて仕事する
本橋 春菜	2016	看護師、営業職	「社会に役立つって何?」医療に貢献する仕事とその中で見つけたやりがいについて
東島 粋生	2017	商事会社	寄り道の効用
浜西 優都	2018	金融/営業	より豊かに生きるために～これからのお金とのつきあい方～

## 受講生の感想から

- ◆大学の勉強の反省点を聞いて、自分が受験の時に活かしたいと思いました。
- ◆大きな目標のためには小さなことからチャレンジしてみることが大切だとわかりました。周りを変えるには、自分が変わり、たくさんの人と繋がってそれを広げていく必要があると感じました。
- ◆竹早はすごい人が多いので、才能ある人たちに囲まれて不安になった、という話には共感しました。私も様々なことに挑戦し、頑張っていきたいと思います。
- ◆人とのコミュニケーションで大切なことを沢山学ぶことができた。少しの声かけや挨拶で救われる人がいるという話がとても印象的でした。
- ◆なりたい、やりたい自分をはっきりさせてくれる、面白い講義だった。

## 大先輩たちの職場を訪ねて— 卒業生の所属する企業を訪問する「企業訪問」

夏季休業を利用して、大先輩の所属する企業を訪問させていただく事業です。訪問先企業で活躍されている同窓生の皆様のご厚意とご担当者様のご協力によって実現しております。生徒たちに丁寧にご説明、ご案内くださいました関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

### 訪問先

8月5日	JR東日本 東京新幹線車両センター(上中里)
8月19日	ANA Blue Hangar (羽田)
8月21日	鉄道総合技術研究所事業所(国立)
8月28日	シチズン時計株式会社(田無)



### 【参加生徒の感想】

- ◆新幹線の運転席を含めた車内見学のほか、車輪の部分の見学といった貴重な体験ができ、鉄道についてさらに興味が深まりました。(JR 東日本)
- ◆飛行機はその大きな機体にたくさんの細かい工夫がされていると気づきました。飛行機をより信頼しようと思った格納庫見学でした。(ANA)
- ◆一言に鉄道業界と言っても、土木から建築、車両、システムまで幅広い分野があり、それぞれに対して研究が行われているということに感銘を受けました。(鉄道総研)
- ◆時計の分解、組み立ては、簡単な部類とは聞いていたものの初心者には超が付くほど難しかったです。だからこそそのような細かい作業を実行できる会社で働く人は尊敬するし自分が何ができて何ができないのか、それを知るきっかけにもなりました。(シチズン)



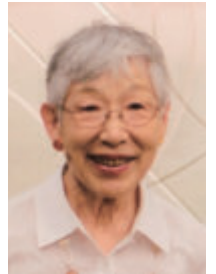
# 六竹・有志の会

令和7年6月6日、メンバー17名が、都内の「如水会館」に集まった。我々は、今年度で皆卒寿を迎える訳で、それ故「六竹会」の正式会合は、本年度をもって解散することにした。この「六竹会」は、1954年度の卒業生の集まりで、卒業後毎年1回、4クラス合同で都内某所に集まり開催してきた。当初は、担任の諸先生方にもご出席いただいたが、諸先生方は既に鬼籍に入られ、また我々同級生もその後を追って年々減少し、本年連絡のとれた方は僅か25名であった。なお、「近況報告」で、丁度1週間前に我々と同学年の長嶋選手が死去し、その話題で、当時我々の初任給は男性13,000円、女性9,000円(いずれも大卒)程度であったが、他方長嶋選手の契約金が1,800万円とその破格な額が、当時大変な話題となったとの話であった。なお、来年からは、メール等で連絡し合い、出席できる有志のみで集まることにした。(影本昌則 1954年卒)



## 自彊術(じきょうじゅつ)に出会って

渡辺 登喜恵  
(旧姓木下、10回生)



昭和30年竹早に入学して一番に気付いたのはセーラー服の友がとてもキレイだったこと、又可愛らしく個性的で素敵な方々でした。

そのセーラー服も私のものは4才上の姉がウールの布を買い白線を一本一本縫ってくれ、スカートは中学からの品で毎晩寝押しして3年間通しました。母に新品をねだっても叱られ、だからお下がりを着ている方を尊敬していました。学業は必死についていきましたが、科目毎に優秀な方がおり感心しました。英語では苦勞し、松原コト先生の幾何は好きでしたがご主人がシベリヤ抑留中と話され、その後帰られたのか、ずっと気になっています。家庭科でならった餃子は今も我が家のおふくろの味です。

20代は思い切り働き遊び、30代で結婚、次女長男の出産後体調を崩し、50代で日本最初の健康体操、自彊術に出会い効果を実感。続けて指導員の資格を得て、コーラスの仲間と教室を開きました。2000年60才、子宮がんの手術の翌日からできる体操を行い回復も早く復帰。貰った命を活かしたく、杉並区荻窪保健所の健康推進委員となりました。1年後、講習会を開いてくださり教室ができたのを皮切りに、次々と8教室になりました。



並行して山の会や区民ハイクのスタッフとして交流、元気に歩きまわり、充実した60代、70代でした。2021年(32号)の篁会報の「高女卒業生訪問記(第1回)」の水原康子様は保健所時代から数年間お世話になった自彊術の生徒さんでびっくり。電話で「この歳(90代)で仕事があるのはありがたいわね」のお話しに、ガッテン納得しました。

85才になり今まで要所要所で支えてくださった竹早の友、自彊の友、家族に感謝し、これからも全身の関節を動かし心身ともに健康が続くよう、自彊術を毎日続けます。

公益社団法人自彊術普及会 (URL: <https://www.jikyoku.com/>)

# 第14回篁会教育基金・奨学生認証式

2025年7月17日実施

審査により2025年度は4名の3年生が奨学生として選ばれました。

それぞれが「竹早高校から出発する近い未来と夢」を語ってくれました。

**深澤 梨汐さん**✳️私は3年間の高校生活で様々な分野の学びを深めました。その中で、日本と外国の架け橋のような存在になりたいという夢を抱くようになりました。竹早高校に入学した頃は自分に自信が持てず、明るい将来像を描くことが出来ませんでした。しかし、何事にも志高く、挑戦を続ける友人と勉学に励む中で、諦めないことの重要性に気付くようになりました。

**菊池 梨理香さん**✳️国境なき医師団に所属して戦地の人を助ける、そこが私の最終目標です。竹早高校卒業後は医学部に進学して医師免許を取得し、医師団所属に向けて経験を積みたいと思っています。今私を支えてくれている竹早の先生方に「自慢の卒業生だ」と言ってもらえるよう、夢に向かって精進し続けたいと思います。

**成瀬 杏治さん**✳️私は高校卒業後、大学での学びや出会いを通じて自分に向いていることや本当にやりたいことを見つけたいです。竹早での行事や日々の生活で協力の大切さや努力を継続する力を培うことができました。

これらを大学生活でも活かし、自分の可能性を広げていきたいです。一歩ずつ前に進む毎日が自分の明るい未来に繋がると信じています。

**高橋 夢侑さん**✳️竹早高校卒業後は、大学で学びを深め、将来は海外で働きたいと考えています。高校2年時に参加したアメリカ研修で、文化や価値観の違いに触れ、自分の世界が大きく広がりました。その経験から、国際的な環境で挑戦し、多様な人々と協力して社会に貢献できる人材になりたいと思いました。語学力アップにも努めていきたいです。



## 最高の仲間と作り上げる、竹早での一生の思い出

### 体育祭 ～燃え上がる竹早生の青春～

曇天で涼しく、運動には絶好の気候で開催された今年の体育祭。GWを使って練習した竹早高校伝統のダンスによる「パフォ」を始めとした、団同士の熱いぶつかり合いが見られました。そんな竹早生の燃え盛る闘争心に当てられて、いつしか隠れていた太陽も顔を出し、駒沢公園に集った竹早生の熱気を高めました。パフォやリレー、綱引きなど、競技を通してそれぞれの青春を謳歌する生徒たちの顔は、最高に輝いていました。（生徒会書記 大木 誠淳）



### 竹早祭～繋げていく努力と思い出～

竹早祭では、例年通り一年生が教室での出し物、二年生は教室劇、そして三年生がアリーナ劇を行いました。すべてのクラスが一学期からの準備の成果を存分に発揮し、多くの笑顔に包まれた、思い出に残る4日間となりました。三年生のアリーナ劇では、今まで見たことのない先輩の側面を見ることもできました。一、二年生は先輩たちが見せてくれたものを来年にも繋げていくことでしょう。（生徒会書記 市村 匠）



## シニア会 2025 年のご報告と 2026 年のご案内

2025 年 10 月 12 日、スクワール麹町にて 47 名の参加を得て開催されました。80 歳（傘寿）と 88 歳（米寿）の参加者にお祝いの傘とお米がプレゼントされました。元気で顔を合わせることでできる幸せを喜び合い、旧交を温めるひとときでした。

**2026 年は 11 月 8 日（日）12:00 から、同じくスクワール麹町で開催されます。**

会費は 9,000 円の予定です。シニア会の対象は、卒業後 50 年経過の年代が中心ですが、もっと若い方々も大歓迎です。お問い合わせ、参加の申し込みは下記へ。  
電話：090-3331-5093（関）、080-2035-3698（泉）、090-3234-1603（古山）

メール：takamurasenior@gmail.com  
（※校歌祭に関するお問い合わせもこちらへどうぞ）

参加のお申し込みをお待ちしております



## 第 33 回東京校歌祭に参加しました～校歌を歌い継ぐ会～

2025 年 10 月 26 日（日）杉並公会堂にて、都立高校 21 校が参加して東京校歌祭が開催されました。今年度は、シニア 6 名、若手 6 名の最強「老若チーム」で力を合わせて、第二高女校歌、竹早高校校歌、時の旅人を披露しました。

若い方々にリードしていただき、心地よい時間を過ごすことができました。ご指導、ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

もっともっと大勢での合唱ができれば嬉しい限りです。今年度は 2026 年 10 月 18 日（日）杉並公会堂での開催です。どなたでも参加可能です。ぜひ一緒に歌いましょう。



### 2025 年度大学合格状況

国公立大学 67 名（東京大 1、京大 2、一橋大 2、東京科学大（旧東工大）2、お茶の水女子大 4、東京外語大 2、東京海洋大 2、東京学芸大 4、千葉大 5、埼玉大 2、筑波大 2、横浜国立大 6、東京農工大 3、福島県立医科大 1、東京都立大 5）

私立大学 819 名（早稲田大 29、慶応大 11、上智大 31、東京理科大 22、明治大 92、青山学院大 46、立教大 103、中央大 33、法政大 63、学習院大 26、芝浦工業大 13、日本大 27、東洋大 73、駒澤大 7、専修大 16）

\*詳しくは 5 月以降、竹早高校のホームページ([www.metro.ed.jp/takehaya-h/](http://www.metro.ed.jp/takehaya-h/))卒業後の進路>進路データ>大学合格状況)をご覧ください

## 「当たり前のようにあること」の歴史、背景、危うさについて

2026年篁会会報誌編集長 直居敦(1983年卒業)

思いがけず篁会会報誌の編集を仰せつかることになった。同期と久し振りに顔を合わせ、いろいろな卒業生の文章をあずかり、また話を聞く機会を持つようになった。

ホームカミングデーのテーマとして「竹早らしさって何?」みたいなことを考えよう。大先輩や若手の話も聞こう。アンケートなんかもいいんじゃない?!

こんな感じで盛り上がっていった。正直言ってよくある話だ。ただ、文章を集め、話を聞くうちに、竹早らしさの象徴として、“自主自律”あるいは“自由な校風”という言葉が、当たり前のように聞こえてくることに気が付いた。そしてすぐに辿り着いたのである。竹早らしさの象徴である“自主自律”の背景に明確な事件と“筋金入り”の闘いがあったことを……。時を超え、綿々と受け継がれてきたことを……。「何をいまさら!」という方も、「へー!」と感じる方もいるだろう。でも、それはもしかしたらとても危ういことではないか?“自主自律”の言葉だけがフワフワと残り、そのうちに誰にも気付かれずに消えてしまう?

HPでは自主自律の背景となった1969年の事件や生徒件宣言に至る過程、ある意味その混沌が偉大なミュージシャン山下達郎さん(1971年卒)を生むに至ったことなどをエッセイに記しました。

## 卒業生有志お茶会レポート

2026年1月10日 ホームカミングデー 2026実行委員会

「縦と横の絆が紡ぐ竹早の伝統と未来」。ホームカミングデーのコンセプトを固め、アンケート調査をする“準備運動”のひとつとして、若手卒業生と実行委員会によるお茶会を開きました。お茶とお菓子を楽しみながら4時間あまりのおしゃべり!「竹早あるある」「いやいやそれはないでしょ!」とそれ自体が楽しいイベントでした。



## 書道家、山方百合子さん(昭和25入学)の人生を聞きに行く

藤田(丸山)紀久子ほか

「この際自分が尊敬していて学びたい人のところに会いに行っちゃおう!」と藤田紀久子さんが、竹早百周年記念式典会場で出会った山方百合子さんのお話を聞いてきました。壮絶な戦中戦後、引揚げを体験、憧れの竹早で学び、書道に深く関わっていく——。ドラマのような体験を感じさせない、背筋がずっと伸びた美しい先輩なのです。



京王プラザホテル八王子にて

## 杉浦重剛青年の脳裏に焼き付いた恩師の言葉

内田英伸

明治時代、東京大学博物館掛取締や東京英語学校の2代目校長などを務めた杉浦重剛という教育者がいました。優れた研究業績から英国化学協会の終身会員にもなった人物。化学実験にかける熱意や、竹早高校と近隣地にまつわる縁からその後の女子教育につながった可能性について“教授”こと内田英伸さんがまとめました。



※いずれの原稿も、詳細は刷新された篁会HP (<https://takamurakai.com>) からお読みいただけます。ぜひご覧ください!

## 令和7年度理事会報告

### ●第一回 2025年6月14日 出席7名 委任状 11名

#### 1) 承認

- ・6月22日開催の7年度総会運営について
- ・HCD準備状況及び運営内容確認

### ●第二回 6月22日開催 総会

#### 1) 承認

- ・新会長選任の件 1975年卒 吉田賢治氏
- ・新理事選任の件 1982年卒 富士田浩之氏  
1993年卒 柳原みずき氏  
2010年卒 金谷多加央氏
- ・会則改訂 第4条 特別顧問の設置
- ・令和6年度会計報告

#### 2) 事業計画

- ・ホームページ全面見直し、若篁塾邂逅準備及び若篁会活動計画  
奨学生認証式、特別セミナー、企業訪問、学年幹事交流会

### ●第三回 10月11日 出席6名 委任状 13名

#### 1) 承認

- ・2025年度 HCD実施報告
- ・2026年度 HCDリーダー (83年卒 植田聡美氏)  
会報誌編集長 (83年卒 直居敦氏)
- ・ホームページ見直し計画案
- ・上半期会計報告

### ●第四回 1月15日 出席5名 委任状 15名

#### 1) 承認

- ・会報誌& HCD準備状況報告
- ・若篁塾開催計画内容
- ・Q3会計報告

### ●第五回 3月20日 出席7名 委任状 12名

#### 1) 承認

- ・新任理事 選任 退任理事 確認
- ・若篁塾 講師確認 (7名)
- ・新ホームページプロトタイプ確認 及び 開発費今年度計上
- ・今年度会計見直し及び次年度計画数字確認

## 会費納入の仕方について

### ①本書同封の振込用紙(宛名用紙の下部)※郵便局専用

### ②クレジットカード決済

ホームページ  
(<https://takamurakai.com>)の  
「篁会会費納入のお願い」より  
ガイダンスに従い決済ください。



### ③銀行振り込み

必ず卒業年4桁(19●●年卒)と氏名(フルネーム)を入力の上、  
みずほ銀行 本郷支店 2350582 竹早高等学校篁会  
に振込ください。  
(振込手数料はご本人負担となります。)  
※年会費は2口(2000円)以上となります。

## 篁会 2025・R7年度収支決算(案)

2025年4月1日より2026年3月31日まで(単位:円)

収入の部			支出の部			
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額	
前年度繰越金	5,794,092	5,794,092	教育支援事業	奨学金	300,000	280,000
入会金	1,840,000	1,791,854		教育援助金	20,000	47,559
年会費	1,800,000	2,246,833		篁会特別セミナー	100,000	90,190
郵貯	—	1,802,530	活動推進事業	会報発行費	2,300,000	2,547,851
みずほ	—	89,000		ホームカミングデー(含総会)	300,000	449,572
クレジット	—	284,303		若篁塾	150,000	9,000
現金	—	71,000		学年幹事交流会	60,000	57,300
寄付	0	13,000		若篁会	50,000	50,000
その他	0			校歌祭	50,000	60,000
受取利息	0	20,590		シニア会	50,000	0
HCD収入	0	123,500		六竹会	30,000	30,000
				その他活動費	200,000	80,080
				Web・HP管理費	200,000	305,500
			デジタルツール	150,000	135,180	
			総務費	100,000	52,169	
			次年度繰越金	5,374,092	5,795,468	
計	9,434,092	9,989,869	計	9,434,092	9,989,869	

\*上表の外、基金(定額貯金)10,000,000円がある。

## 篁会 2026・R8年度収支予算(案)

2026年4月1日より2027年3月31日まで(単位:円)

収入の部		支出の部		
科目	金額	科目	金額	
前年度繰越金	5,795,468	教育支援金	奨学金	300,000
入会金	1,840,000		教育援助金	20,000
年会費	1,800,000		篁会特別セミナー	100,000
		活動推進事業	会報発行費	2,600,000
			ホームカミングデー(含総会)	300,000
			若篁会	50,000
			若篁塾	100,000
			学年幹事交流会	60,000
			校歌祭	50,000
			シニア会	50,000
			六竹会	
			その他活動費	230,000
			Web・HP管理運用費	100,000
		デジタルツール	150,000	
		総務費	100,000	
		次年度繰越金	5,225,468	
計	9,435,468	計	9,435,468	

\*上表の外、基金(定額貯金)10,000,000円がある。

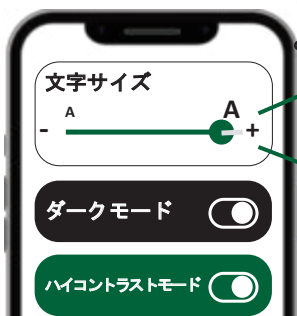
# 篁会公式Webサイト フルリニューアル！

～10代の在校生からご年配の大先輩まで、すべての世代に使いやすいホームページへ～

竹早高校（旧府立第二高女）同窓会「篁会」の公式ホームページが、全面的に新しくなりました！  
PCはもちろん、スマートフォンやタブレットからの閲覧に完全対応し、ただの情報発信にとどまらない、  
会員の皆様が便利に使える「参加型」のサイトへと進化しました。

## 1 圧倒的に「見やすく、わかりやすく！」

様々な世代の会員様が快適にご利用いただけるよう、「見やすさ」を追求しました



文字拡大  
1.5倍まで

文字サイズがあなたに合わせて変化

シニア世代にも優しいデザイン設計

見たい情報がすぐ見つかるメニュー



## 2 充実のコンテンツ&アーカイブ



会報誌もスマホで手軽に

写真・動画ギャラリーを新設



## 3 あなた専用のマイページが誕生！

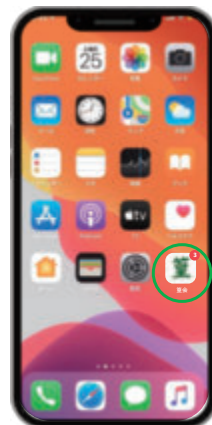


会員登録をさせていただくと  
「マイページ」をご利用いただけます。

会費のお支払いが  
スムーズに！

届出・イベント出欠も  
オンラインで

## 4 スマホアプリのように使えます！



スマートフォンでは、専用アプリの  
ようにできて、サクサク動きます。  
最新情報をいつでも手軽にチェック  
できます。

プッシュ通知で最新情報を見逃さない！

## 5 さらに進化！今後のリリース予定機能

これで完成ではありません。今後も段階的に便利な機能を追加し、篁会の価値向上に繋げていきます。



グループ交流  
機能



キャリア支援・  
OB/OG訪問



決済方法の  
拡充



広告・協賛  
機能

※今後の機能は予定であり、開発状況により変更・見送りとなる場合がございます。

### 開発者からのメッセージ

目指すは「篁会版Facebook」。

竹早卒の大先輩から在校生まで、幅広い世代が気軽に交流できる場所を提供し、篁会の価値をさらに高めるサービスに育てていきたいと考えています。

ここでの出会いが、皆さまの人生の可能性を広げるきっかけになる——。そんな温かいコミュニティの実現に向けて、今後も機能の充実とサービス強化に尽力してまいります。

まずは一度、新しいサイトをご体験ください！皆様の新規会員登録をお待ちしております。



takamurakai.com



あの頃の竹早には、個性的な奴らが山ほどいた。  
60年生きてきて、最も楽しかった日々がもしれない。  
還暦を迎えた今、竹早の奴ちがらもちったDNAを  
今一度掘り起こして、新たな人生を始めてみようかと思う。

裏表紙イラスト及び上記文章  
作者:83年卒業生 金本伸一

### 篁会役員

(2026年3月現在)

会長	吉田 賢治	1975 年卒
名誉会長	俵田 浩一	1980 年卒 (竹早高校校長)
顧問	篠辺 修	1971 年卒
顧問	西村 慶介	1975 年卒
顧問	古関 恵一	1977 年卒
特別顧問	高倉 孝生	1971 年卒
特別顧問	宮沢 和正	1974 年卒
副会長	杉渕 明子	1978 年卒
副会長	鳴沢 清隆	1979 年卒
副会長	根岸潤一郎	1979 年卒
理事	川戸 直美	1974 年卒
理事	廣川 州伸	1974 年卒
理事	神門 正雄	1979 年卒
理事	本庄 忍	1979 年卒
理事	源 美恵子	1979 年卒
理事	江口 真理	1981 年卒
理事	富士田浩之	1982 年卒
理事	戸次 聡史	1982 年卒
理事	柳屋 克子	1983 年卒
理事	柳原みづき	1993 年卒
理事	金谷多加央	2010 年卒
理事	大森 美樹	2016 年卒
理事	東島 粹生	2017 年卒
理事	堤谷 美柚	2018 年卒
理事	長岡 望	2019 年卒
理事	宮岡あや野	2019 年卒
理事	池ヶ谷駿介	2020 年卒
理事	鈴木 彰太	2020 年卒
理事	小林 夏希	2021 年卒
理事	緑川 泰生	2021 年卒
理事	松田 理玖	2022 年卒
理事	山中 捺月	2022 年卒
理事	伊藤 敦	2024 年卒
理事	茂呂居 洪伸	2024 年卒
監事	高橋 政行	1973 年卒
監事	三野 直子	1974 年卒

### アドバイザー

岩野 英子	1968 年卒
吉岡 新	1969 年卒
松澤由利子	1970 年卒
中村 光宏	1971 年卒
水田 茂夫	1971 年卒
薩田 寿美子	1972 年卒
山田 祥子	1974 年卒
田村 浩之	1975 年卒
佐々木 章子	1976 年卒
山口 順子	1976 年卒

### 広報委員 (2026年3月現在)

吉岡 新	1969 年卒
杉渕 明子	1978 年卒
鳴沢 清隆	1979 年卒
江口 真理	1981 年卒
千手 美穂	1982 年卒
富士田浩之	1982 年卒
植田 聡美	1983 年卒
藤田紀久子	1983 年卒
柳屋 克子	1983 年卒
*直居 敦	1983 年卒
齋藤 聡	1984 年卒
白杉 武志	1984 年卒
東島 粹生	2017 年卒
*編集長	

### 篁会報



発行日  
発行

2026年4月30日  
篁会  
〒112-0002  
東京都文京区小石川4-2-1  
東京都立竹早高等学校内  
Eメール takamurakai@gmail.com  
https://www.takamura-kai.com  
篁会 広報委員会  
共立速記印刷株式会社  
〒102-0072  
東京都千代田区飯田橋3-11-24

編集  
印刷